

災害ボランティア

商業科3年 平澤 一樹

今回、私は4月28日に北茨城に全日ホームルームを使い災害ボランティアに行った。私は最初、行きたくない気持ちだった。現地に着いてみると町は被害が大きく、たくさんやることがありそうだったので、さらに嫌な気持ちになった。だが、作業をしてみると、クラスみんなが積極的に活動していた。そのため、一人一人が短時間で片づける事が出来た。気付いてみると、みんなの一所懸命に活動している姿を見て、私の嫌な気持ちは、いつの間にか消えていた。終わってみると、時間がたっているのにも気付かず、クラス全員が全力で活動したので、少ない時間のボランティアに感じた。

そんなボランティアを終えると気分が良く、帰りのバスでは活動を始めたときとは一変し、みんな笑顔だった。ただ、帰る前に海岸を見て回ったが、災害が一段とひどく、元には修らないのではないかと感じるほどで、バスの中は無言になってしまうほどだった。今回ボランティアを通して、とても貴重な経験ができた。